

事務事業評価 & 総合計画実施計画調査シート

コード	名称		区分	コード	名称
事業名	61	平田出後線山田橋耐震対策事業	会計	01	一般会計
基本	50	市内道路網を機能的に強化する	款	08	土木費
策			項	02	道路橋りょう費
策	1	市内幹線道路・生活道路の整備	目	03	道路新設改良費
			細目	103	地方道路交付金事業
			細々目	16	平田出後線山田橋耐震対策事業
基本計画該当頁			179		
行革大綱の重点事項番号					
担当部課	コード	703500	評価者氏名	廣田 稔	連絡先
	名称	大山田支所産業建設課			47 - 1157 (内線)

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
市民等、橋梁通行者 (対象件数)	震災等に備えた、より安全で安心して通行ができる橋梁となり、市民生活に密着する生活道路としての移動ルートが確保される。
根拠法令・要綱等	道路橋示方書
開始年度	平成 19 年度
終了年度	平成 19 年度
本年度事業内容	平田出後線山田橋耐震対策事業 橋長 L=72.5m 幅員W=5.2m ・耐震補強設計 一式 ・落橋防止工事(沓座拡幅・桁下鋼製突起)一式
状況変化等	

整備内容

1 建設用地	山田橋
2 建設面積(延床面積)	橋長L=72.5m 幅員W=5.2m
3 規模・構造	落橋防止対策工事(沓座拡幅・桁下鋼製突起)
4 総事業費	36,000 千円

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事業種別	新規	補助	事業類型	整備事業	2次評価対象分
------	----	----	------	------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
		目標	実績	目標	実績
		実績	目標	実績	目標
		目標	実績	目標	実績
		実績	目標	実績	目標

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
実施した箇所数	主要橋梁の耐震対策工事を行うことで、安全な移動ルートがより多く確保できる。	件	目標	実績	1	目標
			実績	目標		実績
			目標	実績		目標
			実績	目標		実績

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	震災等による通行者の安全を確保すると共に、市民の暮らしを支えるための安全で安心な道路網を整備するうえで必要である。
有効性	4	予想される東海・東南海地震等にも備えた、安全な橋梁が確保される。
達成度		
効率性	4	事業効果を高めるため、計画事業費のコスト縮減を図っていく。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A		

進捗状況	年度	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容					
		事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額			
委託	⇔			(千円)			(千円)	耐震補強設計	1	式	4,000											
								落橋防止工事	1	式	30,525											
工事	⇔							事務費	1	式	1,475											
進捗率 (%)	100	事業費計(A)			0			事業費計(A)			36,000			事業費計(A)			0					
事業投入人員		人件費(B)			人			0			人			0			人			0		
フルコスト (A) + (B)		0			0			37,440			0			0			0					

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	0	0	36,000	0	0
Aの財源内訳	国庫支出金		19,800		
	県支出金				
	地方債		15,300		
	受益者負担				
	その他				
	一般財源	0	900	0	0
	計	0	36,000	0	0
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率		地方道路臨時交付金 55%		
	地方債の区分と充当率等		補助残起債 95%		